

学校経営の基本姿勢

子どもの成長

人権尊重を教育活動の基盤に

安心・安全

連携

教師こそが最大の教育環境

【校訓】 「自主 敬愛 協同」

3つの町民運動 「読書 あいさつ 体力づくり」

学校教育目標

ふるさと柴山を愛し、共に学び支え合い、たくましく生きる子どもの育成
～ふるさと・学び・笑顔・元気～

めざす学校像

- 活気のある学校
 - ・安心・安全で活気に満ちた学校
- 鍛える学校
 - ・「生きる力」をバランスよく育てる学校
- 信頼される学校
 - ・家庭・地域の期待に応える開かれた学校

めざす児童像

- 学び続ける子
 - ・めあてを持ち、進んで学習する子
- 思いやりのある子
 - ・互いに支え合い、協力する子
- 健康で元気な子
 - ・進んで心身を鍛え、明るく元気な子
- ふるさと柴山を愛し、誇りに思う子
 - ・ふるさとにふれ、今の自分・将来の自分を見つめる子

めざす教師像

- 子どもとともに汗する教師
- 教育愛に満ちた夢を語る人間性豊かな教師
- 子どもの心を受け止め、よさを伸ばす教師
- 研修・研鑽に励み、力量を高める教師
- 個の強みを生かし、チームで協働し、高め合う教師

学び続ける子

- ①一人一人に応じた学習指導を徹底する
 - ・個人に応じた指導と評価の一体化
 - ・わからないと言える学級づくり
- ②基礎基本の定着を図る
 - ・わかる授業の推進
(主体的対話的で深い学び)
 - 学習の見通し・目標を持たせる指導
 - じっくり考え、課題解決する場と時間
 - 学習を振り返り、学習を定着させる時間
 - ・「読み」「書き」「計算」の徹底
 - ・「朝のパワーアップタイム」の充実
 - ・つまづきに応じた指導
- ③言語活動の充実を図る
 - ・自分の考え・思いを伝える力の育成
 - ・多様な考えを交流し、課題を解決する。
- ④学習規律・学習習慣の定着を図る
 - ・授業のはじめとおわり・発表の仕方
 - ・「話す・聞く」チェックシートの活用
 - ・話す姿勢・聞く姿勢・書く姿勢
- ⑤読書活動の充実を図る
 - ・朝読書・ブックフレンドによる読書習慣啓発

思いやりのある子

- ①あいさつがひびく学校づくりを進める。
 - ・相手に伝えるあいさつの指導
- ②「特別の教科 道徳」の時間の充実を図る。
 - ・中心発問を通して道徳的価値を高める授業
 - ・成長を実感し意欲向上につながる評価
 - ・兵庫版道徳副読本の活用
- ③児童一人一人の状態や特性を認め合い生かす
 - ・個々の特性理解に基づく適切な個別的教育支援計画・指導計画
 - ・児童理解を深めるアンケート・教育相談
 - ・いじめ未然防止、早期発見・早期対応
 - ・いじめ等の積極的認知(SOSに敏感に)
- ④自己実現と共生をめざす人権(同和)教育を推進する。
 - ・多様な体験的な活動で、人権感覚を研ぎ澄まし、豊かな人間関係を築く能力を培う。
 - ・インクルーシブ教育を推進する。
- ⑤望ましい集団活動と特別活動の充実を図る
 - ・自主的・実践的な態度を育む学級活動
 - ・異年齢集団での自治的活動

健康で元気な子

- ①外遊びを奨励する(楽しむ体力づくり)
 - ・晴れた日は外で遊ぶ(大休憩・昼休み)
 - ・全校遊びの設定
- ②体を動かすことが楽しい体育授業を工夫する
 - ・体ほぐし(柔軟性)を取り入れた授業展開
 - ・体力テストの実施と分析
- ③生涯にわたる健康の基礎を培う
 - ・「早寝・早起き・朝ご飯」、排便の習慣化
 - ・適切なテレビ視聴、ゲームの時間
 - ・感染症、病気等の理解と予防する能力
- ④食育を推進する
 - ・食事の重要性、食事の喜び、楽しさの理解と感謝の気持ち
 - ・ふるさと食材を活用した食育実践活動
- ⑤登下校時及び地域での児童の安全確保及び健康管理に努める
 - ・「みまもり隊」・警察との連携
 - ・防災教育副読本の活用

ふるさと(自然・人・もの)

<家庭>

- ・基本的生活習慣の定着
- ・家庭学習・読書の習慣化
「家庭学習週間」の取組

<地域>

- ・オープンスクール実施、HP・学校だよりの発信
- ・地区公民館活動・地域行事への積極的参加
- ・多世代交流(地域の一人としての自覚・マナー)

<校種間・学校間・関係機関連携>

- ・学校間スーパー連携チャレンジプランの充実
- ・幼小中学校との連携と指導の一貫化
- ・SC・SSW等関係機関との切れ目のない連携

未来(自分の未来、ふるさとの未来)への道を切り拓く力(キャリア教育)